



栃の子だより

平成 29 年 11 月 10 日

No.12

文責：寺島 寿一

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

11月の校長講話 「なかよし月間」

全校テーマ 「あいさつで友だちの輪を広げよう」

今年のメジャーリーグのワールドシリーズ第3戦での出来事です。

ピッチャーは、ドジャーズのダルビッシュ有投手。バッターは、アストロズのグリエル内野手でした。ここで、グリエル選手は、先制のホームランを打ちました。

そして、その後には事件が起こりました。

ホームランを打って、ベンチに戻ってきたグリエル選手は、「両手で目尻を引っ張り、目を細めるポーズ」をしました。そして、スペイン語でアジア人をバカにする言葉を口にしたのです。

この様子は、テレビ放送されており、見た人から「明らかにアジア人を差別している」として、SNSで拡散しました。

こうした差別的な行為や発言に対して、スポーツ界では厳しい処分が下されます。グリエル選手は、来シーズンの開幕5試合の出場停止処分となりました。

グリエル選手は、11月1日の最終戦でダルビッシュ投手と対戦するときには、ヘルメットをとって謝罪を行いました。

過去、大リーグにおいて、最も差別が厳しい時代にプレーした選手がいました。

それは、ジャッキー・ロビンソンという選手です。黒人初のメジャーリーガーとして、1945年ロイヤルズに入団し、1947年4月15日にドジャーズの一員として開幕戦に出場しました。当時の、メジャーリーグは、白人のみのリーグで、ジャッキーはたくさんの差別や批判、嫌がらせを受けました。

チームメイトが、同じテーブルでの食事や一緒にシャワーを使うことをいやがりしました。そして、何人かの選手は、他のチームへ移籍しました。相手ピッチャーからは、頭を狙ってボールを投げつけられました。

しかし、ジャッキーをドジャーズに入団させたブランチ・リッキー会長は、「偉大なプレイヤーであり、立派な紳士でなくてはならない。差別に対して仕返しをしない勇気を持つんだ」とジャッキーに言いました。そして、その話の後、いきなりジャッキーの右の頬を殴りました。その時ジャッキーは、「頬は、もう一つあります。ご存じありませんか」と答え、会長の言葉をしっかり受け止めました。

そのジャッキーが活躍した時代より50年近く前に、ウィリアム・エルワース・ホイと

いう選手がいました。彼は、3歳の時に病気で耳が聞こえなくなりました。彼もまた、様々な苦労や周りからの冷たい対応などありましたが、メジャーで活躍し、通算2,000本安打や600近い盗塁の記録を残しました。

そんなウィリアムの活躍を描いた絵本がありますので、ここで紹介します。

題名は、「耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ」です。

彼が残してくれたのは、今当たり前に行われている審判の「ストライク」や「アウト」などのジェスチャー 声を使わず動作で作戦を伝えるサインプレーがありましたね。まさに、耳が聞こえないウィリアムだからこそ、工夫されてできたものです。

先ほど紹介したジャッキー・ロビンソンの偉業は、現在のメジャーリーグでもリスpektされています。

1982年 MLBの新人王の別名が「ジャッキー・ロビンソン賞」と名付けられました。

1997年 彼が付けていた背番号42が、全球団の永久欠番となりました。

2004年 彼がメジャーデビューした4月15日を「ジャッキー・ロビンソン・デー」としました。

2009年 4月15日 すべての選手、コーチ、審判が、その42番のユニフォームを着て試合に出場し、彼の素晴らしさを称えました。

ダルビッシュ有投手も、グリエル選手から差別的な行為をされた後、次のようにインタビューで語っています。

「この世界に生まれた人で、パーフェクトな人は一人もいません。彼もそうだし、僕もそう。今聞いているあなたもそうでしょう。

今回のことでグリエルもそうですけど、全世界の人がひとつ学んで、人間としてまた一歩進めたら、結果的にいいことになるんじゃないかと思う」

私たちが差別はいけないことだと言うことは、十分わかっていますが、時として差別をしてしまうことがあるかもしれません。

そんな時、どんな態度をとっていけばいいのか。また、差別をされたら、どう対応していけばいいのか。

これからの仲よし月間を通して、みんなを考えていきましょう。

活躍する小山小学校の子どもたち

須高クロスカントリー駅伝競走大会

須坂市ジュニア親善ゲートボール大会

四連覇



優勝 & 県大会出場

小山小学校からは、2年5チーム・3年1チーム・4年4チーム・6年3チームの計13チームが出場しました。

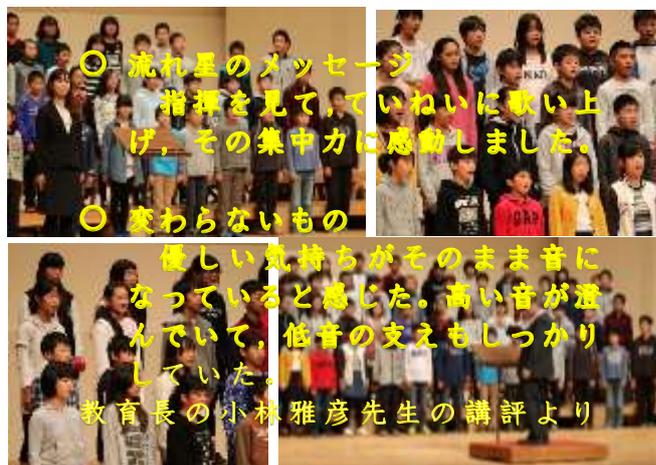
結果は、1位から3位までの小山小の6年生が独占し、小山小としては大会四連覇を達成しました。2年生も小さい体を一杯に使い、元気な走りを見せていました。

昨年、準優勝だったAチームは初戦の旭ヶ丘小との試合で、まさかの敗戦。3位決定戦に回りましたが、3位を確保しました。

一方、助っ人一人を加え初心者中心のBチームは、力の抜けた試合運びで、勝利を積み重ね、決勝で宿敵の旭ヶ丘小にも勝って見事優勝。県大会出場を決めました。



卒業学年親善音楽会で6年生が、「流れ星のメッセージ」と「変わらないもの」を発表しました。



ジュニアエコノミーカレッジ in すざか

南部地域文化祭



小山小学校から「happy clover」「SKY」「Smile*Smile」「Smile キャンディーガール」「Lucky girls」の5・6年生の5つのグループが参加しました。

須坂産モロヘイヤを活用したパン生地、須坂動物園の動物をイメージしたクッキーやサブレ、パズルなど、子どもたちのアイデアを地元業者さんの全面バックアップで商品化し、販売することができました。

今年も合唱団が第28回南部地域文化祭に参加しました。

「つばさをください」「Tomorrow（映画アニメの挿入歌）」「祝い唄、三つ」を美しい歌声と響きで会場の心をはっきりとつかみ、アンコールの声も寄せられました。

また、閉会式での「ふるさと」も会場の皆さんと一緒にステージから歌い上げ、南部地域文化祭を締めくくりました。

